

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	05	労働費	項	02	労働諸費	目	01	労働諸費
大事業	001	労働事業							
中事業	01	労働事務事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-6	雇用の安定		観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-5	雇用の確保、起業の促進		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市補助金等交付規則、観光産業課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	高年齢者、勤労者及び若年者を対象に展開される労働諸事業を支援することにより、労働意欲の喚起等、雇用機会の確保や支援体制の充実を図ります。
実施方法等	雇用情報提供事業 ハローワークより送られてくる雇用情報を庁舎内の情報コーナーに掲示 国・県等の雇用や労働に関する制度や各種セミナー等の情報の周知、広報 カウンセラー相談の実施 勤労福祉団体助成事業 坂井市勤労者協議会に対する補助金の交付

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	307	230	301
	人件費	1,343	3,697	3,163
	総事業費	1,650	3,927	3,464
人員	正職員	0.20 人	0.52 人	0.45 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.20 人	0.52 人	0.45 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	1,650	3,927	3,464

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	会員数（勤労者協議会）	人	目標	160	160	160	160
			実績	154	155	154	170
			達成率(%)	96.25	96.88	96.25	106.25
指標の説明							
活動	勤労者協議会事業費（決算額）	千円	目標	350	420	420	420
			実績	347	301	427	412
			達成率(%)	99.14	71.67	101.67	98.10
指標の説明							
活動	都市圏での就職相談会協力回数	回	目標	1			
			実績	1			
			達成率(%)	100.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	勤労者協議会は労働者の視点で地域活性化を目指した活動を展開していますが、会員数は伸び悩んでおり、活動PRや事業内容を見直す必要があります。まち・ひと・しごと創生総合戦略や雇用対策協定に基づき、福井県出身者が多く在住する首都圏において、県内企業への就職促進や移住・定住支援に係る取り組みを行いました。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	市内企業の人材確保が課題であるため、企業と就労を希望する者や移住希望者とのマッチングの機会はこれからも重要となり、情報収集、情報発信など、福井労働局をはじめハローワーク三国等と協力・連携して着実かつ柔軟に進めていくことが必要です。	
これまでの見直しや改善等の実績	平成28年3月4日付けで福井労働局との間で締結した雇用対策協定に基づき、運営協議会を設置するとともに事業計画を策定し、U・Iターンの就職促進、若年者の就職促進、女性の雇用対策推進及び地域産業の雇用対策推進について、関係機関と連携するなか事業展開を図っています。	

6. 今後の方向性

目標年度	短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		改善（見直し）
	平成29年度			目標年度	平成31年度	
方向性の説明	福井労働局・ハローワーク三国・県産業労働部等と、それぞれの果たすべき役割を認識しながら、協力・連携を強化し、雇用・労働環境の改善と就労支援の強化を図っていきます。勤労者協議会に対する補助金については、会員獲得の取り組みや活動の目的に直接寄与し、多くの市民に波及する事業でなければ補助金の廃止を検討する必要があります。					

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	05	労働費	項	02	労働諸費	目	01	労働諸費
大事業	051	シルバー人材センター事業							
中事業	01	シルバー人材センター事業							

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-6	雇用の安定		観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-5	雇用の確保、起業の促進		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（団体補助）	
根拠法令	有	高齢者等の雇用の安定等に関する法律			
根拠例規	有	坂井市補助金等交付規則、観光産業課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	定年退職後等の高齢者の就業機会を確保し、生きがいの充実及び社会参加の推進を図るとともに、健康的な生活の推進と高齢者の知識、技術を広く地域社会に活用することを目的とします。
実施方法手段	坂井市シルバー人材センターに対し補助金の交付を行います。 （国庫補助基準に基づく助成） ○補助金 14,888千円 ○運営費補助金 7,238千円 ○事業費補助金 7,650千円

3. 事業のコスト

（単位：千円）

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	14,888	12,240	12,225
	人件費	1,880	1,422	1,054
	総事業費	16,768	13,662	13,279
人員	正職員	0.28 人	0.20 人	0.15 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.28 人	0.20 人	0.15 人
財源内訳	国庫支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	16,768	13,662	13,279

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	会員数	人	目標	1,520	1,490	1,460	1,430
			実績	1,141	1,176	1,174	1,236
			達成率(%)	75.07	78.93	80.41	86.43
指標の説明							
指標	就業延べ人数	人	目標	130,000	130,000	130,000	125,000
			実績	121,355	126,453	123,556	130,247
			達成率(%)	93.35	97.27	95.04	104.20
指標の説明							
指標	事務費収入	千円	目標	41,687	45,000	43,847	47,885
			実績	39,926	41,599	41,340	43,488
			達成率(%)	95.77	92.44	94.28	90.82
指標の説明							
指標	受注契約額	千円	目標	683,000	676,000	670,000	664,000
			実績	574,784	597,630	595,901	621,282
			達成率(%)	84.16	88.41	88.94	93.57
指標の説明							
指標に基づく評価		団塊世代の入会者の伸び悩み、定年の延長等により、60歳前半の高齢者の加入が進まないこと、また会員の平均年齢が上昇すると同時に脱会する会員も多く見受けられ、会員数の減少に歯止めが効かない状況にあります。希望する仕事が無いとの理由の退会者も増えていることから会員の希望職種を詳細に把握しながら退会者の減少に歯止めをかける必要があると思われます。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	大手事業所の契約打ち切り等により受託事業収益が減少傾向にあり、新規就業先の開拓をはじめ、多様化する受注に対応するための会員増強が求められています。また適正就業の体制を確立させるとともに会員の就業機会の確保と拡大を図りつつ、更なる経営基盤の強化を図る為の新規財政計画の策定が求められています。	
これまでの見直しや改善等の実績	シルバー人材センターでは、平成26年度から「直売市わくわくショップ事業」を立ち上げるなど、運営費補助金の減額分を独自事業の実施により収益の確保と一般会計からの支出を抑えるなど、健全な運営に努めています。	

6. 今後の方向性

目標年度	短期的な方向性	継続	中長期的な方向性		継続
	平成29年度		目標年度	平成33年度	
方向性の説明	高齢者の雇用機会の確保と社会参加の促進を図る観点から、地域社会の課題解決の担い手として、介護や育児支援を中心とした福祉・家事援助サービス事業などを推進するとともに同センターが自主・自立で運営できるよう適切な指導・助言に努めます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	05 労働費	項	02 労働諸費	目	01 労働諸費
大事業	101	生活安定資金融資事業				
中事業	件	生活安定資金融資事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-6	雇用の安定		観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-5	雇用の確保、起業の促進		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市生活安定資金融資要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	市内の就業者に生活資金の融資を行うことにより、生活安定と福祉の向上を図ります。
実施方法等	原資預託事務 指定金融機関（北陸労働金庫・福井信用金庫）との契約（預託金の支出返還） 実績管理事務 制度説明、啓発事務 利率改定周知、チラシ、広報等による制度案内

3. 事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	88,000	129,000	131,000
	人件費	470	711	1,054
	総事業費	88,470	129,711	132,054
人員	正職員	0.07 人	0.10 人	0.15 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.07 人	0.10 人	0.15 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	88,000	129,000	131,000
	一般財源	470	711	1,054

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	融資件数	件	目標	150	150	200	200
			実績	41	49	67	115
			達成率(%)	27.33	32.67	33.50	57.50
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	実績は年々減少傾向にあります。生活安定資金の利用者が減少する要因には、安定的な生活を送れている状態だとも考えられます。個人消費は新型車効果による車への支出増の傾向にあるとともに、雇用情勢では有効求人倍率が高水準となるなど、景気は緩やかな回復の動きが続いています。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	融資件数は年々減少していますが、就業者の生活と福祉の向上に資するために、経済情勢をはじめ雇用情勢や景気の動向を見極めながら、市民ニーズに即した融資事業を行っていく必要があります。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成32年度	
方向性の説明	金融機関が展開する市民への融資サービスと市が預託して行うサービスが競合しないよう整合性を図るとともに、就業者に生活資金の融資を行うことにより、就業者の生活安定と福祉の向上に資することを目的として今後も継続します。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	05	労働費	項	02	労働諸費	目	01	労働諸費
大事業	151	企業キャリア支援事業							
中事業	01	企業キャリア支援事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり		所管部局	産業環境部
	基本計画	3-6	雇用の安定			観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化			
	施策	4-5	雇用の確保、起業の促進			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）		
根拠法令	無					
根拠例規	有 坂井市補助金等交付規則、観光産業課所管補助金等交付要綱					
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	労働者を非正規雇用から正規雇用へと転換するとともに、育児休業取得者を原職に復帰することを推進し、企業における安定した雇用形態の確保を図ります。
実施方法等	企業キャリア支援事業補助金 非正規雇用労働者を正規雇用した場合に事業所に支給。（100千円/人） （加算額）1 支給対象者が40歳未満の若年労働者（100千円/人） 2 支給対象者が母子・父子家庭の母および父の場合（50千円/人） 育児休業取得者の代替要員を確保し、市内に居住している当該休業取得者を原職に復帰させた事業所に支給する。（100千円/人）

3.事業のコスト

（単位：千円）

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	6,350	2,000	
	人件費	1,813	1,066	
	総事業費	8,163	3,066	0
人員	正職員	0.27 人	0.15 人	人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	人
	人員計	0.27 人	0.15 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	8,163	3,066	0

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	補助金申請件数	件	目標	15	20		
			実績	26	10		
			達成率(%)	173.33	50.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標	補助対象者数	人	目標	25	25		
			実績	36	11		
			達成率(%)	144.00	44.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	労働者のキャリアアップ推進と労働者の安定した雇用の確保及び意欲、能力を向上させ、事業の生産性を高めながら優秀な人材を確保するため、非正規雇用労働者を正規雇用に転換しようとする企業が増加しています。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない	
	企業の人手不足が続く中で、労働者のキャリアアップ推進と労働者の安定した雇用の確保及び意欲、能力を向上させ、事業の生産性を高めながら優秀な人材を確保するための施策であり、ニーズに即した補助メニューとしてより一層の周知を行い、積極的な事業展開を図ります。	
これまでの見直しや改善等の実績	市中小企業振興計画の策定にあたり、市内企業を対象にアンケート調査を実施し、ニーズの把握と意見の集約に努め、小規模企業をはじめ中小企業の要望に即した振興支援策を展開しています。まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく若者の職業能力開発支援や職業相談の充実とともに、アンケートの結果による人材の確保・育成を進めることを重視し、事業化したものであります。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成32年度	
方向性の説明	今後もより一層の周知に努め、坂井市に居住している労働者の安定した雇用を確保するために継続して支援してまいります。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工総務費
大事業	051	商工事業							
中事業	01	商工事務事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-4	商業の振興		観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-3	商業・サービス業の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	市の商工業振興を推進するための業務に必要な経常経費や市内中小企業の経営支援及び貿易に関する情報提供等を行う団体への支援を実施することにより、商工業全般の振興を図ります。
実施手段等	中小企業関係団体の支援 商工業全般の振興を図るため、市内中小企業の経営支援及び貿易に関する情報提供等を行う団体を支援します。 中小企業振興計画の施策の展開 中小企業振興基本条例に基づき策定した中小企業振興計画の具体的な施策の展開を図ります。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	451	418	2,518
	人件費	1,544	1,848	6,325
	総事業費	1,995	2,266	8,843
人員	正職員	0.23 人	0.26 人	0.90 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.23 人	0.26 人	0.90 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	1,995	2,266	8,843

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	福井県貿易振興協議会への負担金	千円	目標	325	325	325	325
			実績	325	325	325	325
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明							
指標	福井県中小企業団体中央会への負担金額	千円	目標	42	42	42	42
			実績	42	42	42	42
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	市の商工業振興を推進するため、市内中小企業の経営支援及び貿易に関する情報提供等を行う団体への支援を行っています。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	福井貿易情報センターでは、貿易投資相談や、輸出経験のない企業を発掘し、海外への展開を支援するなど、県内の貿易を総合的かつ効率的に振興しています。また、中小企業団体中央会では、ものづくり中小企業・小規模事業者の競争力強化を支援し、ものづくり産業基盤の底上げを図り、経済活性化支援に取り組んでいます。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	中小企業の育成をはじめ海外でのビジネス展開の情報提供、さらには貿易実務等、市単独では対応できない専門的な業務を担う機関への負担金支出であるので、今後においても継続していきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費
大事業	001	春江中小企業センター管理運営事業				
中事業	01	春江中小企業センター管理運営事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管 部局	産業環境部
	基本計画	3-4	商業の振興		観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-3	商業・サービス業の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	施設管理事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市中小企業センター条例・同条例施行規則		
関連計画・マニフル	無				

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	中小企業センターの適正な維持管理を図ります。
実 方 施 手 等 段	中小企業センターの利用促進を図るとともに、適切に維持管理を行います。

3. 事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	1,046	996	1,195
	人件費	1,947	1,706	633
	総事業費	2,993	2,702	1,828
人員	正職員	0.29 人	0.24 人	0.09 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.29 人	0.24 人	0.00 人
財 源 内 訳	国県支出金			
	その他特定財源	772	34	127
	一般財源	2,221	2,668	1,701

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	施設使用料	円	目標	34,000	180,000	150,000	140,000
			実績	56,700	34,480	126,770	198,510
			達成率(%)	166.76	19.16	84.51	141.79
成果	指標の説明						
指標	施設使用回数	回	目標	250	250	250	250
			実績	165	79	219	249
			達成率(%)	66.00	31.60	87.60	99.60
成果	指標の説明						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
成果	指標の説明						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
成果	指標の説明						
指標に基づく評価	今年度は、春江中コミセンの改修工事により同コミセン利用者が中小企業センターを利用したため、使用回数は増加しました。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題	
	シルバー人材センター事務局の事務所は、平成23年度に4ヶ所に分散配置されていた支所を廃止し、組織体制を集約して現在の建屋の1階部分に入りました。しかし、昭和59年に建築された建物であるため、各所に不具合が出てきており、施設の方向性について協議を進めていく必要があります。	
これまでの見直しや改善等の実績	平成26年度中、シルバー人材センターの理事長や事務局長と、移譲を含めた管理運営に向けて協議した結果、移譲受入れの条件として、屋上防水工事、トイレ洋式を含めたバリアフリー化などの整備が提示され、整備後であれば、譲渡を受け入れるとの回答がありました。現在もシルバー人材センターとの協議において、施設の移譲に関する条件は変わらない状態です。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		改善（見直し）	中長期的な方向性		改善（見直し）
目標年度	平成29年度		目標年度	平成30年度	
方向性の説明	施設の老朽化による大規模な修繕の必要性、シルバー人材センターの事務所移転等も視野に入れ、春江中小企業センター（施設）の有効な利用の促進について再検討する必要があります。行政財産として使用する間は、引き続き適切に管理していきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費
大事業	051	商工会活動助成事業				
中事業	01	商工会活動助成事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-4	商業の振興		観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-3	商業・サービス業の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（団体補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市補助金等交付規則、観光産業課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	坂井市商工会が行う中小企業や小規模事業者に対する振興事業に要する経費を支援し、市内商工業の総合的な振興と地域経済の健全な発展を図ります。
実手法等	坂井市商工会に対する補助金の交付 ①坂井市商工会運営補助金 商工会の人件費、及び管理運営に要する経費 ②坂井市商工会事業補助金 商工会の経営改善普及事業、商工業の総合振興を図る事業、地域振興の充実を図る事業、会員育成強化事業に要する経費

3. 事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	37,206	37,242	45,848
	人件費	2,685	2,844	2,811
	総事業費	39,891	40,086	48,659
人員	正職員	0.40 人	0.40 人	0.40 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.40 人	0.40 人	0.40 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	973		
	一般財源	38,918	40,086	48,659

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	会員数	人	目標	2,000	2,000	2,000	2,000
			実績	1,813	1,841	1,861	1,871
			達成率(%)	90.65	92.05	93.05	93.55
指標の説明							
指標	商工会運営補助金	千円	目標	15,000	15,000	15,000	13,000
			実績	15,000	15,000	15,000	13,000
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明							
指標	商工会事業補助金	千円	目標	25,800	23,100	30,000	35,000
			実績	21,382	23,000	30,000	35,000
			達成率(%)	82.88	99.57	100.00	100.00
指標の説明							
指標	経営改善普及指導員設置費+事業費	千円	目標	90,789	89,509	91,223	90,306
			実績	87,894	91,731	89,847	91,248
			達成率(%)	96.81	102.48	98.49	101.04
指標の説明							
指標に基づく評価		会員数が徐々に減少するなかで、会費収入も低下することから事業が縮小傾向にあります。魅力ある事業の企画・実践に加え、経営改善普及事業の拡大により会員メリットを見出し、会員数の増加に向けた施策を講ずる必要があると考えます。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	公益性の高い施策を担っていることから、現状においては、2分の1以上の補助率は妥当と考えます。そのなかで、本補助金の運用が、商工会法に記載される本来の目的や事業範囲を確実に遂行するための有効な手段となるよう、関係を密にし市内商工業の総合的な改善発達に努めます。	
これまでの見直しや改善等の実績	商工会事業補助金については、平成27年度までは総事業費に対する3分の2の補助率としていましたが、補助金の妥当性や公平性を高めるため、平成28年度からは個別事業ごとに補助率を3分の2以内とし、個々の事業内容を精査するとともに費用対効果の向上に努めました。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		改善（見直し）	中長期的な方向性		改善（見直し）
目標年度	平成29年度		目標年度	平成32年度	
方向性の説明	会員数が減少傾向にある現状を重く受け止め、短期的には現状把握と分析による原因究明を急ぐことで会員数減少に歯止めをかけるとともに、財政基盤の強化、事業の効率性、自主財源の確保等について商工会と協議を重ねます。また長期的には補助率を2分の1レベルへ近づけていけるよう努めます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費
大事業	101	商業振興対策事業				
中事業	01	商業振興対策事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-4	商業の振興		観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-3	商業・サービス業の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市補助金等交付規則、観光産業課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	商店街振興組合等が行う環境整備事業及び活性化事業に要する経費に対して助成を行うことにより、商店街の活性化と振興を図ります。
実手法手段	<ul style="list-style-type: none"> 商店街等振興事業費補助金 商店街振興組合等が行う環境整備事業及び活性化事業に対する助成 商店街環境整備事業【補助率等】1/2以内 1,000千円限度 【事業内容】商店街等が実施するハード事業に対する補助 商店街活性化事業【補助率等】1/3以内 500千円限度 【事業内容】商店街等が実施するソフト事業に対する補助

3. 事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	677	166,840	38,638
	人件費	1,544	2,559	2,108
	総事業費	2,221	169,399	40,746
人員	正職員	0.23 人	0.36 人	0.30 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.23 人	0.36 人	0.30 人
財源内訳	国県支出金		159,437	
	その他特定財源		6,571	
	一般財源	2,221	3,391	40,746

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	商店街の補助申請件数	件	目標	5	7	7	5
			実績	2	4	8	7
			達成率(%)	40.00	57.14	114.29	140.00
指標の説明							
活動	補助金対象団体への周知	回	目標	2	2	2	2
			実績	5	5	2	2
			達成率(%)	250.00	250.00	100.00	100.00
指標の説明							
活動	4地区商業振興協同組合合同会議開催	回	目標	5			
			実績	5			
			達成率(%)	100.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		各商店街は、大規模小売店舗の進出やネット販売などによる購買機会の多様化や後継者不足などにより厳しい経営状況が続いています。こうした中、各地区の商業振興組合が市内商店街の活性化と今後の市内商業圏域の経済好循環の実現を目指すための合同会議を開催する取り組みを始めたことは評価できます。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	有効性に課題	
	事業主自らが主体的かつ意欲的に魅力づくりに取り組む必要があるが、こうした活動を支援する制度があることを対象団体へ周知を図り、積極的な事業展開を図るよう促す必要があります。その際、事業主自身が現状を認識し、より効果の高い方策をとる必要があります。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6. 今後の方向性

目標年度	改善（見直し）		中長期的な方向性		継続
	平成31年度		目標年度	平成34年度	
方向性の説明	大規模小売店舗が進出する中で、商店街の存続が危ぶまれています。発展的かつ継続的な商店街の経営安定化を図り、自助努力を促すような、また、コミュニティ形成につながるようなものとなるよう建設的な協議を進めながら、補助金の目的を明確にしていきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費
大事業	151	中小企業支援事業				
中事業	01	制度融資利子補給事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-4	商業の振興		観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-3	商業・サービス業の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市補助金等交付規則、観光産業課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	中小企業者等振興資金融資を受けた資金に係る利子に対し、利子補給金を交付することにより、中小企業者等の金利負担の軽減を図ります。
実施方法等	坂井市制度融資利子補給事業 【利子補充率】融資利息の1%相当分 【補給期間】融資実行日から1,095日間（3年間）

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	21,430	24,349	26,917
	人件費	2,685	2,844	1,406
	総事業費	24,115	27,193	28,323
人員	正職員	0.40 人	0.40 人	0.20 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.40 人	0.40 人	0.20 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	24,115	27,193	28,323

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	市振興資金融資申請件数	件	目標	250	250	250	250
			実績	163	215	236	274
			達成率(%)	65.20	86.00	94.40	109.60
指標の説明							
指標	市振興資金融資金額	千円	目標	1,056,000	1,050,400	1,139,450	1,037,535
			実績	724,700	1,134,270	1,172,150	1,434,925
			達成率(%)	68.63	107.98	102.87	138.30
指標の説明							
指標	実利子額（支払利子額）	千円	目標	15,018	16,419	9,818	4,534
			実績	34,955	38,783	42,742	41,969
			達成率(%)	232.75	236.21	435.34	925.65
指標の説明							
活動	対象者・銀行への案内チラシ・ホームページ更新	回	目標	4	4	4	4
			実績	4	4	4	4
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明							
指標に基づく評価	経済の回復傾向とともに、新規融資申請件数、融資金額が減少しています。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
	景気の緩やかな回復基調が継続しています。金融機関の金利競争の激化により、制度融資の金利メリットが小さく、市制度融資の利用実績は減少しています。毎年600社近い事業者から利子補給の申請がありますが、手続き等の企業負担の軽減と、より魅力のある金融政策への改善が必要です。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6. 今後の方向性

短期的な方向性		廃止	中長期的な方向性	
目標年度	平成28年度		目標年度	
方向性の説明	経済の回復傾向とともに、新規融資申込みの件数が減少しており、政策的に行ってきた経済対策による一定の成果が表れています。制度融資利子補給を平成28年度をもって廃止し、平成29年度より保証料補給事業に移行します。なお、平成29年3月31日以前の融資は、従来通り3年間分の利息分を補給し、4月1日以降の融資に対しては保証料補給事業へ切り替え、継続して金融面・経営面の両面からの支援を行います。			

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	商工振興費
大事業	151	中小企業支援事業							
中事業	06	中小企業振興資金融資事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり		所管部局	産業環境部
	基本計画	3-4	商業の振興			観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化			
	施策	4-3	商業・サービス業の振興			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）		
根拠法令	無					
根拠例規	有 坂井市補助金等交付規則、観光産業課所管補助金等交付要綱					
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	市内の中小企業者等に対し、経営基盤の強化及び事業の活性化を促進するために必要な資金を低利で融資することにより、本市産業の発展を図ります。
実手法手段	市内の指定金融機関に必要な原資を預託（金融機関の協調5倍） ◎一般資金（運転資金・設備資金） ・融資限度額 運転資金：1,000万円 設備資金：3,000万円 ◎開業資金 ・融資限度額 1,500万円

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	499,000	500,026	519,025
	人件費	604	1,777	703
	総事業費	499,604	501,803	519,728
人員	正職員	0.09 人	0.25 人	0.10 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.09 人	0.25 人	0.10 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	499,000	500,000	519,000
	一般財源	604	1,803	728

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	振興資金利用件数	件	目標	250	280	250	250
			実績	163	215	236	274
			達成率(%)	65.20	76.79	94.40	109.60
指標の説明							
指標	市振興資金融資金額	千円	目標	1,056,000	1,050,400	1,139,450	1,037,535
			実績	724,700	1,134,270	1,172,150	1,434,925
			達成率(%)	68.63	107.98	102.87	138.30
指標の説明							
活動	対象者・銀行への案内	回	目標	2	2	2	2
			実績	2	2	2	2
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明							
活動	チラシ・ホームページ更新	回	目標	2	2	2	2
			実績	2	2	2	2
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明							
指標に基づく評価	経済の回復傾向とともに、新規融資申請件数、融資金額が減少しています。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	経済の回復傾向とともに、新規融資申請件数、融資金額が減少しており、政策的に行っている経済対策による一定の成果が表れています。今後も金融機関・保証協会と連携し、中小企業者が利用しやすいようPRを行う必要があると考えます。	
これまでの見直しや改善等の実績		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		改善（見直し）
目標年度	平成29年度		目標年度	平成32年度	
方向性の説明	中小企業及び小規模事業者の経営基盤の強化及び事業の活性化を推進するために必要な資金を低利で融資することにより、事業の拡大、安定した経営支援について、今後も継続して実施していきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費
大事業	151	中小企業支援事業				
中事業	11	マル経融資利子補給事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-4	商業の振興		観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-3	商業・サービス業の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市補助金等交付規則、観光産業課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	日本政策金融公庫が取り扱う小規模事業者経営改善資金（マル経融資）を受けた資金に係る利子に対し利子補給金を交付することにより、小規模事業者の金利負担の軽減を図ります。
実施方法等	マル経資金の融資を受けた資金に係る利子に対し利子補給金を交付【利子補給率】マル経資金融資率から福井県が利子補給する相当利率を控除して得た利率に、2分の1を乗じて得た率（1.0%を限度とする）をマル経資金融資利率で除して得た率に支払利子額を乗じて得た額（ただし、1円未満の端数切捨て）【補給期間】融資を受けた日（据置期間を設けた場合は、期間満了日の翌日）から起算して2年を経過する日の属する月まで

3. 事業のコスト

（単位：千円）

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	1,318	1,120	1,134
	人件費	403	1,066	1,054
	総事業費	1,721	2,186	2,188
人員	正職員	0.06 人	0.15 人	0.15 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.06 人	0.15 人	0.15 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	1,721	2,186	2,188

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	利子補給申請率	%	目標	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績	100.0	93.6	95.9	95.9
			達成率(%)	100.00	93.60	95.90	95.92
指標の説明							
指標	マル経資金利用件数	件	目標	72	70	50	48
			実績	95	91	71	47
			達成率(%)	131.94	130.00	142.00	97.92
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	申請件数は増加傾向にあります。マル経融資の償還利子補給を実施することで、経営改善に寄与しています。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない	
	保証人や担保が不要で、かつ、低利で借入れが可能なマル経資金は、利用しやすい資金です。中小企業のうち小規模事業者については特に経済状況の影響を受けやすいことから、融資利用者の負担を軽減し、安定した経営を支援します。	
これまでの見直しや改善等の実績	市商工会と連携し、小規模事業者に対する資金繰りの円滑化を図りました。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成32年度	
方向性の説明	本制度を利用するにあたり商工会の経営指導を受けることが条件となっており、経済的支援・経営指導が一体となった効果の高い制度といえ、今後においても引き続き支援していきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費
大事業	151	中小企業支援事業				
中事業	16	中小企業振興支援事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-4	商業の振興		観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-3	商業・サービス業の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		中小企業振興基本条例、観光産業課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	市内中小企業が行う人材育成に係る経費や新規市場開拓をはじめ、新商品及び技術開発に要する経費に対して支援し、市内中小企業の販路拡大やものづくりの推進による継続的な経営と発展を支援します。
実施手段等	坂井市中小企業振興懇話会の開催 中小企業人材育成支援事業 中小企業振興支援事業 ①知的財産権等取得活動事業 ②産学官連携促進支援事業 ③展示会出展事業 ④新商品開発事業 ⑤販路開拓支援事業 補助率：1/2以内 限度額：年間1事業所20万円（国外の③30万円）

3. 事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度	
コスト	事業費	2,755	1,645		
	人件費	3,021	3,910		
	総事業費	5,776	5,555	0	
人員	正職員	0.45 人	0.55 人		
	臨時職員	0.00 人	0.00 人		
	人員計	0.45 人	0.55 人	0.00 人	
財源内訳	国県支出金				
	その他特定財源				
	一般財源	5,776	5,555	0	

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	振興支援事業補助金申請件数	件	目標	20	25		
			実績	14	11		
			達成率(%)	70.00	44.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標	人材育成支援事業補助金申請件数	件	目標	10	5		
			実績	6	5		
			達成率(%)	60.00	100.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標	空家活用ビジネス事業補助金申請件数	件	目標	4			
			実績	0			
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	前年度よりも申請件数は増加しており、今後も申請件数の増加が予想されます。空家活用ビジネス事業については、事前の相談が3件あったものの、いずれも補助金の交付要件を満たす案件でなかったことから実績は無しとなりました。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない 振興支援、人材育成補助金については、昨年からの制度の周知の効果もあり増加の傾向にあります。空家活用ビジネスは、実績数は0件ですが市商工会の新規創業制度を紹介するなか、同制度の事業概要等を周知しているところであり、今日に至る間、複数の相談事案もあり、市民のニーズはあると考えます。
これまでの見直しや改善等の実績	平成25年10月1日、市内中小企業の支援を目的に「坂井市中小企業振興基本条例」を制定しました。その後当条例を総合的かつ計画的に実施するための実行計画として平成27年3月に「坂井市中小企業振興計画」を策定しました。当計画に基づき、平成27年度より中小企業振興支援事業、中小企業人材育成支援事業といった各種中小企業支援制度を設け中小企業者向けの支援を行っております。

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		改善（見直し）
目標年度	平成29年度		目標年度	平成32年度	
方向性の説明	中小企業振興計画に基づく支援策の検証と評価を3年間を目途に行い、施策の着実な推進を図ります。また今後、市商工会と連携した企業アンケートを実施し、ニーズにマッチした施策を企画立案する形で見直し、小規模企業者をもとより中小企業者のさらなる振興策を積極的に実施します。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費
大事業	201	企業立地促進事業				
中事業	01	企業立地促進事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-5	工業の振興		観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-2	製造業の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市企業立地促進条例・同条例施行規則		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	企業の新規誘致及び市内既存企業の増設を促進することにより、産業基盤の強化、産業技術の高度化、地元雇用機会の創出及び産業の発展を図ります。
実施方法等	本市へ進出する企業、市内で事業施設の増設・移設を行う企業、市内への本社機能移転や拡充、並びにこれに付帯して新規に雇用を創出した場合、また空き工場等を有効に活用した場合等に助成金を交付します。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	176,814	189,666	140,280
	人件費	3,894	4,976	3,865
	総事業費	180,708	194,642	144,145
人員	正職員	0.58 人	0.70 人	0.55 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.58 人	0.70 人	0.55 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	180,708	194,642	144,145

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	助成金額	千円	目標	178,261	195,740	150,065	161,583
			実績	176,278	189,101	139,877	158,450
			達成率(%)	98.89	96.61	93.21	98.06
指標の説明							
活動	助成金適用認定数	件	目標	3	3	2	2
			実績	4	3	3	3
			達成率(%)	133.33	100.00	150.00	150.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		助成金適用認定数については、継続して目標を達成しており、今後も積極的な誘致活動に努めていきます。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない 県と連携を密にし、一体となった制度設計や誘致活動を展開しているため、課題はないと考えますが、本社機能の市内移転に関するメニューが、国の制度においては東京23区からの移転に限られているため、要件の緩和を要望していきたいと考えます。
これまでの見直しや改善等の実績	平成27年度に国が東京23区から地方へ本社機能を移転する場合の支援策を打ち出したため、県と連携して本市も制度改正を行い、平成28年4月からは、本社機能および成長産業にかかる助成制度を追加しました。

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		改善（見直し）
目標年度	平成29年度		目標年度	平成32年度	
方向性の説明	企業誘致助成制度は市内産業の活性化をはじめ産業振興のみならず、雇用機会の確保、市財政の安定化にも寄与するものであり、中長期的に見て重要な施策であると考えます。今後におきましても、経済情勢や企業動向を踏まえながら継続して実施するとともに、法改正や国・県の制度改正にともなって市の制度内容を見直しながら、国や県と一体となった誘致活動に努めます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費
大事業	251	工業振興対策事業				
中事業	01	工業振興対策事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-5	工業の振興		観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-2	製造業の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（団体補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市補助金等交付規則、観光産業課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	織物・繊維産業の関連団体が実施する新製品の開発、人材育成、市内外への情報発信及び販路拡大等の事業を支援し、地場産業である織物・繊維産業の振興を図ります。
実施方法等	地場産業である繊維産業の振興を図るために織物団体が行う試験研究事業、先進地視察事業、展示会出展及び販路開拓事業等に対する助成 ○繊維産業振興事業費補助金（限度 2,000千円/補助事業者） ①展示会出展事業 ②新製品開発事業 ③知的財産権等取得活動事業 ④産学官連携促進支援事業 ⑤販路開拓支援事業 ⑥先進地視察事業

3. 事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	0	2,000	2,899
	人件費	134	1,209	1,757
	総事業費	134	3,209	4,656
人員	正職員	0.02 人	0.17 人	0.25 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.02 人	0.17 人	0.25 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	134	3,209	4,656

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	織物振興事業補助申請件数	件	目標	3	2	4	5
			実績	0	1	4	3
			達成率(%)	0.00	50.00	100.00	60.00
指標の説明							
指標	関係団体の協議件数	件	目標	3	3	3	5
			実績	3	3	3	3
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	60.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		申請件数は年々減少しており、平成28年度については、織物協同組合の事務所移転等に費用が高んだため例年通りの補助事業に取り組みことも出来ず申請件数はゼロとなっています。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	補助金が有効に活用されるよう事業者のニーズを捉えながら制度設計する必要があります。	
これまでの見直しや改善等の実績	平成27年度の支援から制度内容を見直し、知的財産権等取得活動や県外での積極的な販路開拓による支援を充実させました。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	繊維産業は市の基幹産業であり、次世代にも繋げていくために市としても今後の発展を望みバックアップしていくべきと考えます。補助金の有効的な活用方法を事業者のニーズを捉えながら、個人でも活用していけるよう制度設計の見直しを行い成果を残していけるようにします。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光総務費
大事業	051	観光事業				
中事業	01	観光事務事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	8	地域全体でもてなすまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	8-1	観光資源の個性と魅力づくり		観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-4	観光の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	市の加盟する広域観光組織や観光団体等が実施する事業に対して、その経費の一部を負担することにより、本市観光全般にわたっての振興を図ります。
実施方法等	○負担金 ・北前船寄港地フォーラム参加負担金 ・芦原温泉駅ブロック観光開発協議会負担金 ・日本さくらの会負担金 ・県観光連盟負担金 ・広域観光助成事業負担金 ・福井観光コンベンション協会負担金 ・北陸国際観光テーマ地区福井県地区推進協議会負担金 ・福井坂井奥越広域観光圏事務費負担金 ・越前加賀観光推進協議会負担金 ・越前加賀インバウンド推進機構負担金 ・周遊・滞在型観光推進事業負担金

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	12,637	5,342	2,242
	人件費	1,141	5,758	8,223
	総事業費	13,778	11,100	10,465
人員	正職員	0.17 人	0.81 人	1.17 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.17 人	0.81 人	1.17 人
財源内訳	国県支出金	7,650	3,900	
	その他特定財源			
	一般財源	6,128	7,200	10,465

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	北前船寄港地「三国湊」の日本遺産認定に向けての会議参加・会議開催	回	目標	3			
			実績	4			
活動			達成率(%)	133.33	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標	周遊滞在型観光推進計画策定の協議（委員会・幹事会）	回	目標	10			
			実績	9			
活動			達成率(%)	90.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標	インバウンド推進のための5市町協議（首長会議・担当課長会議・担当者会議等）	回	目標	10			
			実績	15			
活動			達成率(%)	150.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	当市単独では取組めない事業について、関係市町・団体と連携することで、事務事業を進めることができました。北前船の日本遺産認定については、11月から適時に関係者を集め、協議をスムーズに進めることができました。周遊滞在型観光推進事業も、短い時間の中で何度も協議を重ね、期日までに計画策定にたどり着くことができました。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題 当市を取り巻く各種団体等と協力連携をしながら観光振興を行っていくことは、対外に向けた情報発信にもつながり、その効果は大きいと考えます。一方、活動の主旨が一部重複している団体もあるため、団体の統廃合の協議も必要です。
これまでの見直しや改善等の実績	平成21年度から事業展開を行ってきた福井坂井奥越広域観光圏推進協議会(福井市・あわら市・坂井市・永平寺町・大野市・勝山市)については、事業計画期間の満了に伴い、平成28年度末をもって、解散しました。

6. 今後の方向性

目標年度	短期的な方向性	改善（見直し）	中長期的な方向性		継続
	平成30年度		目標年度	平成34年度	
方向性の説明	「芦原温泉駅ブロック観光開発協議会」を「周遊滞在型観光推進委員会」と統合し、組織や事務の簡素化を図ります。その他の団体については、それぞれに活動目的を有しているため、継続的な参加協力を行っていきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	07	商工費	項	01	商工費	目	04	観光振興費
大事業	001	観光振興事業							
中事業	01	観光協会助成事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	8	地域全体でもてなすまちづくり		所管部局	産業環境部
	基本計画	8-1	観光資源の個性と魅力づくり			観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化			
	施策	4-4	観光の振興			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（団体補助）		
根拠法令	無					
根拠例規	有 坂井市補助金等交付規則、観光産業課所管補助金等交付要綱					
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	観光協会が行う観光地の活性化事業、観光資源の開発及び宣伝事業に要する経費に対して支援することにより、観光の振興を図ります。
実方手法手段	観光協会の管理運営費、負担金及び観光PR、出向宣伝等の活動費に対する助成 <ul style="list-style-type: none"> ・三国観光協会補助金 ・丸岡観光協会補助金 【補助率】人件費及び管理運営費 1/2以内、負担金及び活動費10/10以内

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	4,040	4,040	4,040
	人件費	1,141	569	422
	総事業費	5,181	4,609	4,462
人員	正職員	0.17 人	0.08 人	0.06 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.17 人	0.08 人	0.06 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	5,181	4,609	4,462

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	観光客入込数（坂井市）	人	目標	5,000,000	5,900,000	5,811,200	5,675,000
			実績	5,532,669	4,934,586	4,495,054	4,331,394
			達成率(%)	110.65	83.64	77.35	76.32
指標の説明							
活動	観光客入込数（丸岡地区）	人	目標	900,000	800,000	800,000	800,000
			実績	996,271	881,883	787,739	797,200
			達成率(%)	110.70	110.24	98.47	99.65
指標の説明							
活動	観光客入込数（三国地区）	人	目標	3,300,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
			実績	3,705,672	3,251,094	2,772,188	2,767,865
			達成率(%)	112.29	108.37	92.41	92.26
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	各観光協会の積極的な観光地活性化により、各地区だけでなく坂井市全体のPRにつながっており宣伝効果があったと思われます。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	（一社）坂井市観光連盟、三国観光協会、丸岡観光協会で類似する事業を実施している面があり、事業の重複やコストの二重投資など、効率性や効果性の観点から改善が必要と思われます。また、人事配置や事務局費について団体ごとに差異が見受けられます。	
これまでの見直しや改善等の実績		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		改善（見直し）	中長期的な方向性		改善（見直し）
目標年度	平成30年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	（一社）坂井市観光連盟、丸岡観光協会、三国観光協会の組織統合に向けて、新しい組織の役員構成、組織機構及び事務局体制等に関する取りまとめ作業を実施します。また、組織統合と同時に新観光ビジョン戦略策定のための情報収集に努め、構成団体や関係事業者等の気運醸成を図ります。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	07	商工費	項	01	商工費	目	04	観光振興費
大事業	001	観光振興事業							
中事業	06	観光振興対策事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	8	地域全体でもてなすまちづくり		所管部局	産業環境部
	基本計画	8-1	観光資源の個性と魅力づくり			観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化			
	施策	4-4	観光の振興			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）		
根拠法令	無					
根拠例規	有 坂井市補助金等交付規則、観光産業課所管補助金等交付要綱					
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	三国地域には、見る、遊ぶ、泊まるの多くの観光資源が点在しているため、この貴重な観光資源を活かし、観光客の誘客に貢献している団体等を支援することにより観光振興を図ります。
実施方法手段	<ul style="list-style-type: none"> 団体事業補助金 三国サンセットビーチ振興会事業補助金 浜地浜茶屋振興会事業補助金 NPO法人ボランティアガイドきたまえ三国事業補助金 一般社団法人三國會所事業補助金 観光魅力づくり活動支援事業補助金

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	3,076	3,204	3,310
	人件費	1,678	2,559	2,249
	総事業費	4,754	5,763	5,559
人員	正職員	0.25 人	0.36 人	0.32 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.25 人	0.36 人	0.32 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	157		
	一般財源	4,597	5,763	5,559

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	観光客入込数（三国地区）	人	目標	3,500,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
			実績	3,705,672	3,251,094	2,738,332	2,752,865
		達成率(%)	105.88	108.37	91.28	91.76	
成果	指標の説明						
指標	三国湊町散策 観光客入込数	人	目標	100,000	100,000	100,000	100,000
			実績	78,000	81,000	64,000	76,000
		達成率(%)	78.00	81.00	64.00	76.00	
成果	指標の説明						
指標	ボランティアガイド出動数	回	目標	400	400		
			実績	273	363		
		達成率(%)	68.25	90.75	0.00	0.00	
活動	指標の説明						
指標	ボランティアガイド案内観光客数	人	目標	5,000	5,000		
			実績	3,510	4,159	4,651	5,236
		達成率(%)	70.20	83.18	0.00	0.00	
活動	指標の説明						
指標に基づく評価	三国地区全体では観光客入込数は増加傾向のようですが、三国湊町を捉えると、横ばい状態と言えます。東尋坊をはじめ、観光客集客力の大きい観光地からの観光客の取込みや周遊性の向上にも、取り組んでいく必要があります。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	有効性に課題	
	いずれの事業も、三国地区での観光振興には不可欠な事業ですが、個々の支援に対する事業効果が判然としないものもあります。事業支援の必要性の確認や補助対象経費の見直しなどを行い、団体の自立を促す上でも、不要な支援は省いていかなければならないと考えます。		
これまでの見直しや改善等の実績	事業の棲み分けが分かりにくい「三国サンセットビーチ振興会事業補助金」と「観光魅力づくり活動支援事業補助金」との事業統合を行いました。		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		改善（見直し）	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成30年度	
方向性の説明	補助金合理化委員会の答申を踏まえ、事業に対する数値計画と目標管理を徹底させ、事業効果が域内経済の活性化に繋がるよう指導していく必要があります。支援すべき事業内容と補助対象経費の見直しを繰り返しながら、周遊滞在型観光の早期実現を目指して、継続して支援を行っていきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	07	商工費	項	01	商工費	目	04	観光振興費
大事業	001	観光振興事業							
中事業	16	観光ビジョン戦略事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	8	地域全体でもてなすまちづくり		所管部局	産業環境部
	基本計画	8-1	観光資源の個性と魅力づくり			観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化			
	施策	4-4	観光の振興			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	無					
根拠例規	無					
関連計画・マコル	有 坂井市観光ビジョン戦略基本計画					

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	地域全体の観光PRを行うことにより、宿泊を伴う滞在型観光の推進、各種観光資源を活用した坂井市観光ブランドの構築を行います。また、様々な業種と連携して、観光産業の裾野を広げながら、市全域への経済効果の波及を図ります。
実施方法等	坂井市観光ビジョン戦略基本計画に基づき、（一社）坂井市観光連盟がけん引役となり、積極的に観光情報の発信や観光地としての魅力向上を行います。 <ul style="list-style-type: none"> 観光ビジョン戦略事業業務委託料 一般社団法人坂井市観光連盟運営補助金 坂井市学生合宿促進事業補助金 三国温泉号運行事業補助金

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	37,899	36,216	23,326
	人件費	4,296	7,180	5,271
	総事業費	42,195	43,396	28,597
人員	正職員	0.64 人	1.01 人	0.75 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.64 人	1.01 人	0.75 人
財源内訳	国県支出金	4,101	4,079	3,797
	その他特定財源			
	一般財源	38,094	39,317	24,800

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	観光客入込数	人	目標	5,000,000	4,500,000	4,500,000	4,000,000
			実績	5,532,669	4,934,586	4,495,054	4,331,394
成果			達成率(%)	110.65	109.66	99.89	108.28
指標の説明							
指標	学生合宿補助金	千円	目標	10,000	10,000	10,000	10,000
			実績	7,758	7,848	7,279	7,343
成果			達成率(%)	77.58	78.48	72.79	73.43
指標の説明							
指標	観光連盟の収益事業・旅行商品造成・他団体と連携した事業取組み	回	目標	5			
			実績	4			
活動			達成率(%)	80.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標	三国温泉号利用者	人	目標	7,000	7,000	7,000	7,000
			実績	6,386	5,790	7,227	7,081
成果			達成率(%)	91.23	82.71	103.24	101.16
指標の説明							
指標に基づく評価	学生合宿の助成額は横ばいを続けているため、宿泊施設側と連携した、更なる誘致活動が必要です。（一社）坂井市観光連盟は新規事業への取組みを始めていますが、より一層の取組みを期待するところです。三国温泉号利用者は一定数の利用者ニーズを掴んでおり、冬季の積雪状況とも大いに関係すると思われませんが、今後も利用客増に向けた取組みは必要です。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	（一社）坂井市観光連盟は地域限定旅行業免許を取得していますが、それを活かした旅行商品開発に至っていない、また、市内観光団体との組織統合を含めた連携を模索する中で、有機的な事業に取組めるよう継続した支援が必要です。学生合宿・三国温泉号ともに堅調に推移していますが、利用者数増に向けて更なる取組みも必要です。	
これまでの見直しや改善等の実績	観光ビジョン戦略事業で委託をする事業内容及びその委託料の見直しを行って、ルーティン的な事業取組みにとどまらないよう、指導・協力をしています。昨夏に本格オープンをした「ちくちくほんぼん」に対しては、学生合宿を積極的に取り込むよう、エージェントへの営業活動と合せて、指示をしているところです。三国温泉号は、利用者増と自主的な運行に向けて、三国温泉組合役員と協議を行いました。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		改善（見直し）	中長期的な方向性		改善（見直し）
目標年度	平成29年度		目標年度	平成30年度	
方向性の説明	（一社）坂井市観光連盟への運営補助金と三国温泉号運行事業補助金は、3ヶ年の時限措置であり、29年度が最終年度であるため、来年度以降の取組みについては、廃止もしくは規模縮小の方向で協議を行いたいと考えます。また、30年度中に市内3つの観光団体の組織統合、並びに、観光ビジョン戦略計画の見直しを行うことに伴い、補助金・委託料共に、その内容と金額の見直しを行います。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	07 商工費	項	01 商工費	目	04 観光振興費
大事業	001	観光振興事業				
中事業	21	B-1グランプリ開催事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	8	地域全体でもてなすまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	8-1	観光資源の個性と魅力づくり		観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-4	観光の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（団体補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	無		坂井市補助金等交付規則、観光産業課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニフェスト	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	2016東海・北陸B-1グランプリin坂井を開催し、本市の観光資源のPR及び愛Bリーグ正会員20団体による様々な食文化を来場客に楽しんでもらうとともに、地元商店街や各団体からのイベント開催への協力を促し、市全体の活性化を目指します。
実方手法手段	東海・北陸B-1グランプリin坂井の実施及び関連イベントの開催。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	13,611	8,000	
	人件費	8,995	4,123	
	総事業費	22,606	12,123	0
人員	正職員	1.34 人	0.58 人	人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	人
	人員計	1.34 人	0.58 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金	0	7,400	
	その他特定財源	0	4,123	
	一般財源	22,606	600	0

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	来場者数	人	目標	100,000	80,000		
			実績	112,000	77,000		
			達成率(%)	112.00	96.25	0.00	0.00
指標の説明							
指標	経済波及効果	千円	目標				
			実績	371,690			
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	小学生によるのぼり旗の制作や、地元中高生の運営ボランティアへの参加、近隣県への出向宣伝による坂井市の魅力PR、市民を巻き込んだイベントの実施により、目標の来場者数を上回り、市民の郷土愛の醸成につながりました。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	妥当性に課題	
	複数団体による実行委員会形式で事業を進めましたが、そのほとんどの事務を、実質的な事務局業務を担った観光産業課で処理する結果となりました。今後はイベント等の運営を主催者である地域団体が主体的に活動していくよう促していく必要があります。		
これまでの見直しや改善等の実績	まちづくり活動を通じて、地域を元気にし、辛み蕎麦を「ふるさとの味」として認識してもらい、「ふるさとへの誇り」「郷土愛」を醸成するとともに、坂井市だけでなく、広域的に周遊が図られるよう周辺団体とも連携し全体での観光消費額の増加を目指すことができました。また、まちづくりに参加する若者や地元の人を巻き込み、ひとづくりと地域コミュニティの再生を図ることもできました。		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		完了	中長期的な方向性	
目標年度	平成28年度		目標年度	
方向性の説明				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	07 商工費	項	01 商工費	目	04 観光振興費
大事業	051	郷土芸能振興事業				
中事業	01	郷土芸能振興事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	8	地域全体でもてなすまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	8-1	観光資源の個性と魅力づくり		観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-4	観光の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市補助金等交付規則、観光産業課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	県の無形民俗文化財に指定されている三国祭の山車巡行、山車製作、山車屋台修理及び山車蔵建設・修理に助成を行うことにより、三国祭を保存し、後世に伝えるとともに、観光の振興を図ります。
実方手法等	<ul style="list-style-type: none"> 三国祭市所有山車修繕（山車屋台車輪の修繕） 三国祭山車製作・保存事業 <ul style="list-style-type: none"> 【補助率等】・製作経費 600千円/1地区（自主製作の場合 700千円） ・巡行経費 350千円/1地区 三国祭山車屋台修理事業 【補助率等】 1/2以内 市所有山車保険料

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	7,259	6,612	8,930
	人件費	873	995	1,406
	総事業費	8,132	7,607	10,336
人員	正職員	0.13 人	0.14 人	0.20 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.13 人	0.14 人	0.20 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	8,132	7,607	10,336

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	観光客入込数（三国祭）	人	目標	190,000	190,000	190,000	190,000
			実績	175,000	185,000	180,000	180,000
			達成率(%)	92.11	97.37	94.74	94.74
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		年々露店の数が減っていることで、客足が特定の場所に集中する対策として、様々な企画を行い三国祭の存続や街中のにぎわい創出に努めましたが、他のイベントとの競合もあり、昨年の入込数を下回る結果となりました。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題	
	三国祭全体の責任の所在、指揮命令系統が判然としていなく、氏子・区長会・三国祭保存振興会等のさらなる組織の一体性が求められています。また、山車事業費補助金の補助対象経費の定義を、相互理解のもと見直しを行い、新たに決めていく必要があります。	
これまでの見直しや改善等の実績	賑わい創出やシャトルバスの運行など、三国祭に訪れた人へのおもてなしに取組みました。その他にも街中回遊のための企画を積極的に行いました。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成33年度	
方向性の説明	三国祭当日のことだけでなく、若者の担い手を育成する取組みを行っていく必要があります。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	07	商工費	項	01	商工費	目	04	観光振興費
大事業	101	まつりイベント事業							
中事業	01	丸岡城桜まつり事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	8	地域全体でもてなすまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	8-1	観光資源の個性と魅力づくり		観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-4	観光の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市補助金等交付規則、観光産業課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	日本さくら名所100選に選定されている丸岡城で開催される丸岡城桜まつり事業に助成を行うことにより、全国から観光客を誘客するとともに、坂井市のPRを図ります。
実手法手段	丸岡城桜まつりに対する助成 【事業主体】 坂井市丸岡観光協会 【補助率等】 補助対象経費の1/2以内 【期間】 4月1日～20日 【イベント内容】 ステージイベント、物産販売

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	2,000	2,000	2,000
	人件費	1,141	4,692	6,606
	総事業費	3,141	6,692	8,606
人員	正職員	0.17 人	0.66 人	0.94 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.17 人	0.66 人	0.94 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	3,141	6,692	8,606

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	観光客入込数（桜まつり）	人	目標	65,000	67,000	65,000	65,000
			実績	69,000	60,000	66,000	55,000
成果		達成率(%)	106.15	89.55	101.54	84.62	
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
		達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
		達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
		達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	
指標の説明							
指標に基づく評価		桜の見頃がどのくらいの日数か、また、その見頃が週末と重なるか否かで、イベントの入込数は大きく左右されるものであるため、総じて横ばいの状態が続いています。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題	効率性に課題	
	補助金の申請や桜まつりイベントに係る準備等について、本来事業主体である丸岡観光協会が行うべき作業のいくつかを、市が行っている状況を踏まえると、事業主体が地元や（一社）坂井市観光連盟の協力を得るなどの努力が必要です。		
これまでの見直しや改善等の実績	事務の分担等について、丸岡観光協会と協議をしていますが、なかなか改善されない現状があります。比較的負担の小さい事務・作業から、地元への移行を進めながら、イベント準備に係る作業等についても、市役所職員からの協力ありきではなく、観光協会会員の積極的な参加を促すよう、説明・依頼を行いました。		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		改善（見直し）	中長期的な方向性		改善（見直し）
目標年度	平成29年度		目標年度	平成30年度	
方向性の説明	北陸新幹線金沢延伸開業により北陸地方の観光地が注目を浴びる中、天守の国宝化に向けた活動などを踏まえ、丸岡城桜まつりは今後も観光客が増える傾向にあると思われます。丸岡城桜まつりの実施主体は丸岡観光協会であるため、市が行っている事務作業を速やかに移行をし、民間主体のイベントとなるよう、さらに協議を進め、市内3つの観光団体の組織統合とも併せて、民間主導により集客力のあるイベントとなるよう努めていきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	07 商工費	項	01 商工費	目	04 観光振興費
大事業	101	まつりイベント事業				
中事業	06	三国花火大会事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	8	地域全体でもてなすまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	8-1	観光資源の個性と魅力づくり		観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-4	観光の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市補助金等交付規則、観光産業課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	観光振興及び地域経済の活性化を図るとともに、市民をはじめ多くの方に憩いのひと時を提供します。
実方手法等	三国花火大会に対する助成 【事業主体】 三国花火大会実行委員会 【補助率等】 補助対象経費の1/2以内 【大会開催日】 8月11日

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	10,000	8,000	16,000
	人件費	4,900	5,900	5,271
	総事業費	14,900	13,900	21,271
人員	正職員	0.73 人	0.83 人	0.75 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.73 人	0.83 人	0.75 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	1,569		
	一般財源	13,331	13,900	21,271

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	来場者数	人	目標	220,000	200,000	200,000	225,000
			実績	230,000	210,000	180,000	220,000
			達成率(%)	104.55	105.00	90.00	97.78
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		今回から山の日(国民の祝日)の開催になったこと、また、市制施行10周年記念大会として、例年より打上発数を増やしたことにより、来場者が増加しました。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題	効率性に課題	
	三国花火大会実行委員会が事業主体となり、関係団体からも参加協力を得ながら事業を進めていますが、協賛金募集を始め、実務のほとんどは行政が行っており、その負担は相当なものになっています。早急に市観光連盟や市商工団体等にも事務を分担し、実行委員会全体で、効率的に大会に係る事務を行う必要があります。		
これまでの見直しや改善等の実績	実行委員会のあり方、財源確保と市からのコスト投入の規模等について、事業内容の縮小・変更を含め、協議を重ねています。三国花火大会は、観光資源であり、地域経済活性化の一翼も担っているため、事務局として、行政ばかりが事務を負担するのではなく、もっと地域が主体的に関わるよう、新しい運営体制の構築に努めます。		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成31年度		目標年度	平成35年度	
方向性の説明	観光振興及び地域経済活性化に寄与している事業であるため、今後も地域に根差した観光イベントとして継続していけるよう、関係団体に積極的な参画を促していき、地元主体の事業にしていきます。また、景気状況により協賛金が集まらなくても、花火大会の運営規模が左右されないよう、自主財源が確保できる仕組みを構築し、今後も安定した大会運営ができる財務体質にしていきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	07 商工費	項	01 商工費	目	04 観光振興費
大事業	101	まつりイベント事業				
中事業	11	三国温泉カニまつり事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	8	地域全体でもてなすまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	8-1	観光資源の個性と魅力づくり		観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-4	観光の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市補助金等交付規則、観光産業課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	三国温泉カニまつり実行委員会が、越前がに及び三国温泉を市内外にPRすることを目的に実施する三国温泉カニまつり事業に要する経費に対し支援し、本市の観光の推進を図ります。
実手法手段	カニまつり事業に対する助成 【事業主体】 三国温泉カニまつり実行委員会 【補助率等】 補助対象経費の1/2以内 2,700千円限度額

3. 事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	2,500	2,500	2,500
	人件費	336	1,706	1,898
	総事業費	2,836	4,206	4,398
人員	正職員	0.05 人	0.24 人	0.27 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.05 人	0.24 人	0.27 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	2,836	4,206	4,398

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	来場者数	人	目標	30,000	30,000	30,000	
			実績	30,000	36,000	30,000	
			達成率(%)	100.00	120.00	100.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	県内だけでなく、県外にも積極的にPRを行っており、27年度は北陸新幹線金沢延伸開業の効果もあって、例年より多くの来場者数がありました。28年度も例年同様の取組みを行いました。天候に恵まれなかったこともあり、来場者数を増やすことができませんでした。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題	
	毎年のイベント内容に変化がなく、越前がにや海産物の物販が中心で、その他に楽しめる仕掛けが少なくなっています。越前町のカニまつりと開催日が重なることとあわせて、イベント内容の見直しが必要です。来場者数を増やすための工夫等、実行委員会と出店者が一丸となって、その内容を検討すべきだと考えます。	
これまでの見直しや改善等の実績		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成31年度		目標年度	平成35年度	
方向性の説明	三国港産の越前がにや献上ガニ、宿泊集積地としての三国温泉を県内外にアピールできることから、今後も継続していくべきイベントです。一方で、事業効果や事業課題の分析・把握をしっかりとしていなく、イベント自体がマンネリ化しているため、イベントの集客力が上がるよう、協議することが必要です。また、当日の会場の様子の報告、出店業者の売上高の把握、アンケート調査等を実施し、事業効果の検証も行っていきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	07 商工費	項	01 商工費	目	05 観光施設費
大事業	001	自然環境保全用地管理事業				
中事業	01	自然環境保全用地管理事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	8	地域全体でもてなすまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	8-1	観光資源の個性と魅力づくり		観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-4	観光の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	施設管理事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニフェスト	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	越前加賀海岸国定公園に指定されている、坂井市の海岸線の優れた自然環境の保全を図ります。
実方手法等	<p>市が対象となる用地を借上げることにより、無秩序な開発を抑止するとともに、定期的な除草や清掃など適正な維持管理を行い、眺望に優れた景観保全に取り組めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境保全用地の借上げ 業者委託による除草・清掃管理 市民との協働による植栽活動の展開

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	11,943	13,165	12,170
	人件費	3,021	4,479	2,249
	総事業費	14,964	17,644	14,419
人員	正職員	0.45 人	0.63 人	0.32 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.45 人	0.63 人	0.32 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	340		
	一般財源	14,624	17,644	14,419

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	維持管理している保全用地の面積	㎡	目標	113,575	113,575	102,319	102,325
			実績	113,575	113,575	102,319	102,325
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明							
活動	保全用地の維持管理回数	回	目標	2	2	2	2
			実績	2	2	2	2
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		越前加賀海岸国定公園に指定されている市内海岸線の自然環境用地の除草、清掃等を、例年同様の規模で実施し、景観保全を図ることができました。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	妥当性に課題	
	業者への委託期間約5ヶ月という中で除草作業等を実施していますが、それ以外の時期にも強風や積雪による倒木や落枝、雑草の繁茂など、用地保全のための煩雑な作業が常であり、現行の予算の枠組みでは、通年快適な景観を保全するには厳しい状況にあるため、地域住民やボランティアから協力を得られる働きかけも必要です。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成33年度	
方向性の説明	国定公園の保全は、継続した取り組みが求められ、どのように維持管理していくか、その内容の検討が必要です。また、観光客に注目してもらうため海岸線をどのように魅せていくかなど、地元を含め協議していく必要があります。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	07 商工費	項	01 商工費	目	05 観光施設費
大	051	観光施設管理運営事業				
中	01	観光施設維持管理事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	8	地域全体でもてなすまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	8-1	観光資源の個性と魅力づくり		観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-4	観光の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	施設管理事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	市民及び観光客が安全で快適に利用できるよう、市内観光施設の適切な維持管理を図ります。
実方手法等	施設及び公園の適切な管理運営 ・観光施設修繕料 ・浜地海水浴場トイレ改修工事 ・4号井清掃委託 ・三国地区 施設維持管理等委託料 ・東尋坊四阿撤去・ベンチ設置工事 ・丸岡地区 観光施設管理委託料 ・サンセットビーチ警備詰所建物リース ・三国駅情報提供施設維持管理 ・4号井調査委託

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	33,481	26,271	27,739
	人件費	6,646	5,900	7,871
	総事業費	40,127	32,171	35,610
人員	正職員	0.99 人	0.83 人	1.12 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.99 人	0.83 人	1.12 人
財源内訳	国県支出金	2,721		
	その他特定財源	6,568	3,991	2,483
	一般財源	30,838	28,180	33,127

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	維持管理している施設数 (公園等、トイレ、その他)	箇所	目標	27			
			実績	27			
		達成率(%)	100.00	0.00	0.00	0.00	
指標の説明							
指標	施設	施設	目標				
			実績				
		達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
		達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
		達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	
指標の説明							
指標に基づく評価	平成28年度より三国支所、丸岡支所より移管された業務も含め、予算の範囲内で適正に維持管理をすることができました。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	直接管理しなければならない30ヶ所余りの観光施設について、現有の職員で最善の策を講じていますが、突発的に生じる修繕等の雑多な事務に追い立てられるような対応では、手詰まり感は否めず、業者をはじめ民間活力を有効活用できるような仕組みを考える必要があります。	
これまでの見直しや改善等の実績		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成33年度	
方向性の説明	観光施設の維持管理は必要不可欠な事業です。老朽化した施設を改修するか、新しく別の施設とするか等、今後、観光ビジョン戦略基本計画の中で中長期的な計画を策定していきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	07 商工費	項	01 商工費	目	05 観光施設費
大事業	101	観光施設管理運営事業				
中事業	01	東尋坊観光交流センター管理運営事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	8	地域全体でもてなすまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	8-1	観光資源の個性と魅力づくり		観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-4	観光の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	施設管理事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市東尋坊観光交流センター条例・同条例施行規則		
関連計画・マニュアル	無				

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	観光交流センターを本市の観光情報発信の拠点として位置付け、観光客の多様なニーズに対応するとともに、本市観光の総合的な案内業務の活性化を図ります。
実施方法等	東尋坊観光交流センター整備事業 観光情報発信拠点として、観光客の多様なニーズに対応した総合的な観光案内業務を行うことで、滞在型観光を推進します。また、施設の維持管理を行います。 ・東尋坊観光交流センターの管理運営業務委託 ・特殊建築物等定期調査 ・自家用電気工作物保安管理業務委託 ・消防用設備等総合・機器点検業務

3. 事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	7,480	7,366	7,413
	人件費	671	498	1,054
	総事業費	8,151	7,864	8,467
人員	正職員	0.10 人	0.07 人	0.15 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.10 人	0.07 人	0.15 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	7	3	
	一般財源	8,144	7,861	8,467

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	東尋坊観光客入込数	人	目標	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000
			実績	1,441,300	1,478,900	1,186,880	1,178,900
			達成率(%)	110.87	113.76	91.30	90.68
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	北陸新幹線開業効果は一段落しましたが、東尋坊の観光客入込数は堅調に推移しています。外国人観光客数が増加傾向にあること、東尋坊が県内各観光地の玄関口として機能していることを踏まえ、多言語の案内表示や広域的な観光案内を行っていく必要があります。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題	効率性に課題	
	観光案内業務に関しては民間活動と重複する部分があるため、官民の協働は継続しつつ、一定の線引きが必要です。また、本施設は指定管理者制度の導入が検討されていますが、同施設内に（社）坂井市観光連盟事務局が配置されているため、施設を維持管理している団体の組織改編等についても、検討が必要です。		
これまでの見直しや改善等の実績	的確な観光情報の提供が十分行えるように、施設内レイアウトを変更するなどの工夫、また情報の充実により観光客の利便性の向上を図りました。また、管理業務委託先である三国観光協会に対し観光アカデミーの受講を促すなど、資質向上につながる取り組みを実施するよう指導しました。		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		改善（見直し）	中長期的な方向性		改善（見直し）
目標年度	平成31年度		目標年度	平成34年度	
方向性の説明	観光案内所としての機能の充実を図りつつ、観光案内所利用者が増えるよう、フロアレイアウトの変更を検討します。周遊滞在型観光推進計画策定時に得た来訪者データ等を活用しながら、東尋坊の入込客数増加および滞在時間延長、満足度向上の取り組みを行っていきます。また、市内観光団体の組織統合に合わせて、本施設の指定管理者制度の導入も検討していきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	07 商工費	項	01 商工費	目	05 観光施設費
大事業	101	観光施設管理運営事業				
中事業	06	ゆあぼ〜と管理運営事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	8	地域全体でもてなすまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	8-1	観光資源の個性と魅力づくり		観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-4	観光の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	指定管理事業	
根拠法令	有	地方自治法			
根拠例規	有	坂井市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例ほか			
関連計画・マニュアル	無				

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	温泉施設として観光客や市民に対し憩いの場を提供するため、三国温泉ゆあぼ〜との適切な管理運営を行います。また、三国温泉として、民宿、旅館及び休暇村越前三国への円滑な給湯業務を実施します。
実施手段等	温泉施設として観光客や市民に対し憩いの場を提供するため、三国温泉ゆあぼ〜とを適切に管理運営します。また、三国温泉供給元として、民宿、旅館および休暇村越前三国に対する円滑な給湯を実施します。 <ul style="list-style-type: none"> 指定管理委託料 設備改修工事費

3. 事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	84,589	52,738	59,730
	人件費	2,350	2,488	2,811
	総事業費	86,939	55,226	62,541
人員	正職員	0.35 人	0.35 人	0.40 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.35 人	0.35 人	0.40 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			838
	一般財源	86,939	55,226	61,703

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	利用者数	人	目標	167,000	170,000	172,000	167,000
			実績	153,285	166,793	164,623	167,922
			達成率(%)	91.79	98.11	95.71	100.55
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		平成29年2月末に施設改修工事のために2週間の休業を実施しました。しかし、そのことを踏まえても利用者数の減少は大きく、今後も定期的な改修、それに伴う休業が予定されていることを踏まえた運営を実施するよう指導するとともに、改修工事に当たっては、利用客への影響を最小限度に留める必要があります。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	妥当性に課題	
	施設の老朽化が顕著であり、本年度から3年間の計画で施設改修予定ですが、工事により新たな改修を要する箇所が発見されるなど、施設の維持に必要以上のコストが嵩んでいる現状があります。また、民間事業者が給湯を実施していることから、関係者と今後の施設の在り方について協議する必要があります。		
これまでの見直しや改善等の実績	平成28年度より現指定管理者と新たに3年間の指定管理業務委託契約を締結し、指定管理委託料の見直しを行いました。また、施設設備改修を計画的に実施し、安定的な施設運営の実施の他、施設の老朽化への対応を実施しました。		

6. 今後の方向性

目標年度	短期的な方向性	改善（見直し）	中長期的な方向性		改善（見直し）
	平成30年度		目標年度	平成34年度	
方向性の説明	平成30年までに老朽化した施設設備を更新した上で、平成34年度までに継続して行う施設運営の規模や期間、給湯業務の継続方法など、今後の三国温泉の在り方を協議します。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	07 商工費	項	01 商工費	目	05 観光施設費
大事業	101	観光施設管理運営事業				
中事業	16	丸岡観光情報センター管理運営事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	8	地域全体でもてなすまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	8-1	観光資源の個性と魅力づくり		観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-4	観光の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	指定管理事業	
根拠法令	有	地方自治法			
根拠例規	有	坂井市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例ほか			
関連計画・マニュアル	無				

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	丸岡城を訪れる観光客に対し、観光情報の拠点として積極的に本市の観光PR活動を行うとともに、市内の特産品等の販売を行います。
実施方法等	丸岡観光情報センター 丸岡城を訪れる観光客に対し、観光情報の拠点として積極的に坂井市の観光PR活動を行うとともに、市内の特産品等の販売を行い、再び訪れたいくなるよう「心」でのおもてなしに努めます。 ・指定管理委託料

3. 事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	5,035	6,059	4,385
	人件費	806	1,777	1,757
	総事業費	5,841	7,836	6,142
人員	正職員	0.12 人	0.25 人	0.25 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.12 人	0.25 人	0.25 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	5,841	7,836	6,142

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	利用者数	人	目標	130,000	130,000	110,000	110,000
			実績	128,343	124,641	114,839	100,998
			達成率(%)	98.73	95.88	104.40	91.82
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		目標の利用者数には届かない状況が続いていますが、利用者数自体は堅調に推移しています。施設の立地を生かした集客策を積極的に展開するとともに、丸岡城および周辺施設との連携を深め、滞在時間の延長を促すような事業を実施する必要があります。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題	
	施設の老朽化に伴う耐震性の問題、また、丸岡城天守の国宝化推進に伴う景観等の問題が浮上しています。今後策定される予定の城周辺整備計画等との整合性を図りつつ、施設の今後の在り方を検討する必要があります。	
これまでの見直しや改善等の実績	老朽化に係る施設修繕等については、指定管理者が即応し、観光客への影響を最小限度に抑えるよう指導しました。また、上記課題点を踏まえた上での運営を、指定管理者に指導しました。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		改善（見直し）
目標年度	平成29年度		目標年度	平成34年度	
方向性の説明	平成29年度は指定管理者の選定年度にあたるため、再度指定管理者に管理運営を委託しますが、今後の丸岡城周辺の整備計画に沿う形で検討し、丸岡城天守の国宝化推進と共存しつつ、かつ、観光客の利便性を損なわない施設の在り方を幅広く協議し、施設の運営管理方法を決めていきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	07 商工費	項	01 商工費	目	05 観光施設費
大事業	101	観光施設管理運営事業				
中事業	31	海浜自然公園維持管理事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	8	地域全体でもてなすまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	8-1	観光資源の個性と魅力づくり		観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-4	観光の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	施設管理事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市海浜自然公園条例・同条例施行規則		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	坂井市海浜自然公園を適切に管理運営することにより、市民が自然に親しむ場を提供するとともに、野外におけるレクリエーション活動等の振興を図ります。
実方手法手段	施設及び公園の適切な管理運営 <ul style="list-style-type: none"> ・観光施設修繕 ・公園内草刈、伐採 ・磯観察事業実施

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	16,769	41,391	14,701
	人件費	9,697	4,479	3,655
	総事業費	26,466	45,870	18,356
人員	正職員	1.12 人	0.63 人	0.52 人
	臨時職員	5.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	6.12 人	0.63 人	0.52 人
財源内訳	国県支出金		11,227	2,767
	その他特定財源	2,854	15,801	
	一般財源	23,612	18,842	15,589

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	観光客入込数（海浜自然公園）	人	目標	24,000	23,000	23,000	23,000
			実績	24,598	24,152	24,244	23,759
			達成率(%)	102.49	105.01	105.41	103.30
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		観光客入込数はほぼ横ばいと言えます。5月～11月にかけての集客は例年変わらないため、オフシーズンでいかに客数を増やせるかの対策が必要です。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	夏季のバーベキュー利用者は例年盛況であり、顧客満足度を高めつつ、これからも利用促進を図っていきます。夏季以外の集客について、イベントの企画等の対策を練る必要があります。	
これまでの見直しや改善等の実績	施設の老朽化に伴い、観光客や市民に危険を及ぼしそうな箇所について現場確認するとともに、早急に補修・改修を行い、安全の確保に努めました。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成32年度	
方向性の説明	国体のディスクゴルフ会場に選ばれており、選手や観客にリピーターとなってもらえるよう計画的な施設の改修を行います。また、野外イベントの誘致などこれまでとは違った客層の取り込みを図り、海浜自然公園の付加価値を高めるとともに活用の幅をさらに広げていきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	07 商工費	項	01 商工費	目	05 観光施設費
大事業	101	観光施設管理運営事業				
中事業	36	三国サンセットビーチ駐車場管理事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	8	地域全体でもてなすまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	8-1	観光資源の個性と魅力づくり		観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-4	観光の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	施設管理事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市営駐車場条例		
関連計画・マニュアル	無				

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	市民及び観光客に対して快適で安全に利用できるよう、三国サンセットビーチ駐車場の適切な維持管理を行います。特に海水浴シーズンは駐車場を有料とし、自主財源の確保を目指します。
実方手法等	夏季期間の三国サンセットビーチ駐車場使用料の徴収、駐車場の清掃管理等委託 委託業務；三国サンセットビーチ駐車場使用料徴収等業務 委託期間；平成28年7月16日～8月14日

3. 事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	2,148	2,151	1,668
	人件費	1,343	1,493	1,124
	総事業費	3,491	3,644	2,792
人員	正職員	0.20 人	0.21 人	0.16 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.20 人	0.21 人	0.16 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	2,148	2,151	1,667
	一般財源	1,343	1,493	1,125

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	駐車料金	円	目標	3,000,000	3,000,000	3,050,000	3,250,000
			実績	2,803,500	2,919,500	2,212,000	3,245,500
			達成率(%)	93.45	97.32	72.52	99.86
指標の説明							
指標	海水浴客数	人	目標	30,000	30,000	30,000	30,000
			実績	27,700	26,400	19,800	29,900
			達成率(%)	92.33	88.00	66.00	99.67
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	娯楽施設や余暇の過ごし方が多様化してきており、海水浴客が減少してきている現状がある中で、国定公園内の海水浴場であることや夕陽百選に選ばれていることなど、魅力的なビーチに関する情報発信に力を入れていく必要があります。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	娯楽の多様化で減少した海水浴客を呼び込むための情報発信が必要です。また、オフシーズンの集客を図るためのイベント企画やサーフィン・ヨットセーリングができるビーチであることのPRや夕陽百選に選ばれていることを周知する必要があります。	
これまでの見直しや改善等の実績	イベントの企画やビーチの清掃活動等、集客への取り組みや訪れた人の満足度を高める活動を行っている地元への支援を行っています。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成32年度	
方向性の説明	県下有数の海水浴場であり、市民や観光客が快適で安全に駐車場を利用できるよう、事業継続は必要です。オフシーズンの取り組みにも力を入れ、地元や観光事業者等と連携してサンセットビーチを通年で魅力のある観光地に育て上げていきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	07 商工費	項	01 商工費	目	05 観光施設費
大事業	101	観光施設管理運営事業				
中事業	46	三国まちなか観光施設管理運営事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	8	地域全体でもてなすまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	8-1	観光資源の個性と魅力づくり		観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-4	観光の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	指定管理事業	
根拠法令	有	地方自治法			
根拠例規	有	坂井市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例ほか			
関連計画・マニフ	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	旧森田銀行本店、旧岸名家、三国湊町家館など三国湊町地区に点在する観光資源の適切な管理運営を実施するとともに、施設連携による有効活用に取り組み観光誘客を図ります。
実施手法等	旧森田銀行本店・旧岸名家・三国湊町家館 歴史的、景観的に優れた伝統的な建造物を保存・運営し、観光の活性化に努めます。 ・指定管理委託料

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	7,680	7,670	7,701
	人件費	1,275	853	1,406
	総事業費	8,955	8,523	9,107
人員	正職員	0.19 人	0.12 人	0.20 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.19 人	0.12 人	0.20 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	8,955	8,523	9,107

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	利用者数	人	目標	60,000	58,000	47,500	48,000
			実績	56,350	57,886	43,741	54,017
			達成率(%)	93.92	99.80	92.09	112.54
指標の説明							
指標	利用料金	円	目標	710,000	700,000	700,000	760,000
			実績	555,025	696,890	663,626	669,148
			達成率(%)	78.17	99.56	94.80	88.05
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		利用者・利用料金ともに、目標値を達成できず、特に利用料金の達成率は低調となりました。民間が持つノウハウを、施設運営に活かさず、現在の指定管理者に対しては、より一層の施設利活用につながる取組みを行うよう協議をしていきます。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題	効率性に課題	有効性に課題
	指定管理制度を用いて、民間の施設利用の手法を活用したいという考えでしたが、十分な施設の利活用を行うことができませんでした。今後施設の利活用について協議する必要があります。		
これまでの見直しや改善等の実績	本施設群並びに周辺民間施設が連携し、施設利用促進並びに集客力向上につなげる施策の実施、また自主事業の積極的な実施による収益の確保に努めるよう指導しました。また、明瞭な財務書類の作成に取り組むよう指導しました。		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		改善（見直し）	中長期的な方向性		改善（見直し）
目標年度	平成29年度		目標年度	平成34年度	
方向性の説明	次期指定管理者制度における委託期間中（H30～H34）に、民間譲渡の検討を含め適切な利活用に関する協議を行い、今後の方向性を検討します。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	07 商工費	項	01 商工費	目	05 観光施設費
大事業	101	観光施設管理運営事業				
中事業	51	竹田の里管理運営事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	8	地域全体でもてなすまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	8-1	観光資源の個性と魅力づくり		観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-4	観光の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	指定管理事業	
根拠法令	有	地方自治法			
根拠例規	有	坂井市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例ほか			
関連計画・マニフ	無				

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	たけくらべ広場、竹田水車メロディーパーク、竹田農山村交流センターなど竹田地区に点在する観光資源の適切な管理運営を実施するとともに、施設連携による有効活用に取り組み観光誘客を図ります。
実施方法等	【たけくらべ広場】自然に親しむ野外活動の場を提供するため、広場やバーベキュー施設を適切に管理運営を行います。 【水車メロディーパーク】加賀温泉郷や永平寺、あわら温泉の中継地として、「道の駅」のように休憩所となる駐車場および販売所を適切に管理運営を行います。 【竹田農山村交流センター（ちくちくほんほん）】イベントなどの交流や宿泊の場を提供するため、施設の管理運営を行います。

3. 事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	38,051		
	人件費	1,880		
	総事業費	39,931	0	0
人員	正職員	0.28 人	人	人
	臨時職員	0.00 人	人	人
	人員計	0.28 人	0.00 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	39,931	0	0

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	利用者数	人	目標	45,800			
			実績	55,429			
			達成率(%)	121.02	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標	利用料	千円	目標	8,000			
			実績	8,373			
			達成率(%)	104.66	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	利用者数・利用料ともに順調に推移しており、木工館の改修等により完成したレストランにより、今後も利用者数の増加が見込めます。新規開業施設の運営にも取組む状況であったことから、管理運営に係る費用の正確な算定を行う必要があります。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	竹田農山村交流センターは平成28年7月にオープンしたばかりであり、大手旅行会社との契約など、PR拡大の余地が十分にあります。また、長期休暇期間に利用者が集中することから、イベントの通年開催など、安定した利用者確保に努める必要があります。	
これまでの見直しや改善等の実績	運営状況および営業活動に関して、現地で随時意見交換等の打合せを行い、指定管理者に運営の方向性を指導しました。また、福井県主催の観光アカデミーを指定管理者職員に受講してもらい、観光面からの運営能力向上を図ったほか、指定管理料の見直しを実施し、コスト削減に努めました。	

6. 今後の方向性

目標年度	短期的な方向性		中長期的な方向性		改善（見直し）
	平成30年度	改善（見直し）	目標年度	平成35年度	
方向性の説明	ちくちくほんほんの運営は新規事業であるため、広報やサービス向上の面で、取組んでいくべきことが大いにあると考えられます。改善により収益力を増強することができれば、市からの指定管理料の削減などが期待できます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	13	諸支出金	項	02	基金費	目	11	企業立地促進基金費
大事業	001	企業立地促進基金							
中事業	01	企業立地促進基金							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり		所管部局	産業環境部
	基本計画	3-5	工業の振興			観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化			
	施策	4-2	製造業の振興			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	内部管理事業		
根拠法令	無					
根拠例規	有		坂井市企業立地促進基金条例			
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	企業立地促進条例に基づく助成金の交付に必要な財源に充てるため、企業立地促進基金を設置する。
実方手法等	基金利息を積み立てするなど適切な基金管理に努めました。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	6	11	13
	人件費	67	71	70
	総事業費	73	82	83
人員	正職員	0.01 人	0.01 人	0.01 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.01 人	0.01 人	0.01 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	6	11	13
	一般財源	67	71	70

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	基金現在高	千円	目標	17,868	17,853	17,839	
			実績	17,856	17,850	17,839	
			達成率(%)	99.93	99.98	100.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	市の財政状況を踏まえた上で、できる限り安定的な財源となるよう確実有利な方法により運用しました。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない
	企業立地奨励金の実績額をみると現在の基金額では十分とは言えませんが、財政状況を踏まえ最も確実かつ有利な方法により運用する必要があります。
これまでの見直しや改善等の実績	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	市の産業振興および雇用の創出を促進するためにも、企業誘致は重要であり、そのための助成制度を後押しする基金の設置は必要です。今後においても計画的に運用していきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	13	諸支出金	項	02	基金費	目	16	温泉施設整備基金費
大事業	001	温泉施設整備基金							
中事業	01	温泉施設整備基金							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	8	地域全体でもてなすまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	8-1	観光資源の個性と魅力づくり		観光産業課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-4	観光の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	内部管理事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市温泉施設整備基金条例		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	市民の健康の増進及び観光の振興に資する温泉施設の整備に必要な財源に充てるため、温泉施設整備基金を設置する。
実方手法手段	基金利息を積み立てするなど適切な基金管理に努めました。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	15	31	38
	人件費	67	71	141
	総事業費	82	102	179
人員	正職員	0.01 人	0.01 人	0.02 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.01 人	0.01 人	0.02 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	15	31	38
	一般財源	67	71	141

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	基金現在高	千円	目標	50,250	50,220	50,182	50,144
			実績	50,228	50,213	50,182	50,144
			達成率(%)	99.96	99.99	100.00	100.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	市の財政状況を踏まえた上で、できる限り安定的な財源となるよう確実有利な方法により運用しました。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない	温泉施設は相当の年数を経過しており、設備等の再整備が必要となってきました。現在の基金額では十分な再整備はできませんが、財政状況を踏まえ最も確実かつ有利な方法により運用する必要があります。
これまでの見直しや改善等の実績		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	市民の健康増進と観光振興に資する温泉施設の整備を行うために、基金の設置は必要です。今後においても計画的に運用していきます。				